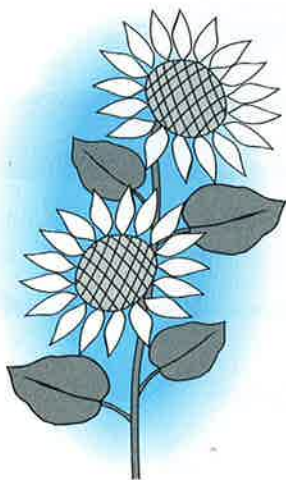


ともに生きる

1999年7月号
第2号
7月1日発行

発行所
社会福祉法人
寿老園
老人ホーム
広島市東区山根町38-23
発行責任者 武村 浩司
電話 (082)263-3841
1999年(平成11年)4月1日創刊

2000年(平成12年) 4月から 介護保険がはじまります



介護保険制度は、40歳以上の人が保険料を出し合う制度です。寝たきりや痴呆になっても、安心して自分らしい生活が送れるように社会全体で支えていくシステムです。介護保険制度では、手続きをしないとサービスが受けられません。介護が必要になったときは、市町村へ申請しましょう。市町村に認定をされると、介護の必要性の程度によって介護サービス計画が立てられ、サービスが提供されます。寿老園でも代理の手続きが出来ますので、お気軽にご相談下さい。

どんな人がサービスを受けられるのですか？

65歳以上で介護や支援が必要と認められた人、もしくは40〜64歳でも年をとることによって起こってくる病気が原因で介護や支援が必要と認められた人です。



サービスを利用する時の自己負担額はいくらぐらい？

利用したサービスにかかる費用の1割を全員が負担します。

利用できる介護サービスは何がありますか？

◎在宅サービスでは

- ・訪問介護(ホームヘルプ)
- ・訪問看護
- ・訪問入浴
- ・訪問リハビリテーション
- ・日帰りリハビリテーション
- ・居宅訪問管理指導
- ・デイサービス
- ・ショートステイ
- ・痴呆対応型共同生活介護
- ・有料老人ホーム等における介護
- ・福祉用具の貸与
- ・住宅改修費の支給

◎施設サービスでは

- ・介護老人福祉施設
- ・介護老人保健施設
- ・介護療養型医療施設

※保険料や利用料は現在まだ決まっておりません。

サービスを利用するには？



申請

本人、あるいは家族が、要介護認定の申請を市町村の窓口に行きます。



訪問調査

市町村の職員、又は専門の職員が家庭を訪問し、本人の心身の状況などをうかがいます。



要介護認定

訪問調査の結果と、かかりつけ医の意見書をもとに、介護が必要かどうか保健、医療、福祉の複数の専門職が審査し、市町村が認定します。



介護サービス計画(ケアプラン)作成

介護が必要と認定された場合は、介護支援専門員が、本人・家族の希望や要介護度ごとの限度額を勘案しつつ、サービスの種類や内容、担当する者そして毎週の計画を立てます。(自分で作ることも出来ます。)



サービスの開始

介護サービス計画に基づき、それぞれのサービス提供機関からのサービスが開始されます。



皆様のご相談をお待ちしております

寿老園老人ホーム ☎(082)263-3841

訪問介護（ホームヘルプサービス）

今回は、訪問介護（ホームヘルプサービス）のことを、紹介させて頂きます。

ホームヘルパーが訪問します

身体上、または精神上的の障害があつて、日常生活を営むのに支障がある方の家庭を、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問して、日常生活のお世話をし、在宅での生活を支援しています。

サービス内容は

寿老園ヘルパーは、主に身体介護のサービスを提供しています。

- ① 食事の介護
- ② 排泄の介護
- ③ 衣類着脱の介護
- ④ 入浴の介護
- ⑤ 身体の清拭・洗髪
- ⑥ 通院介助
- ⑦ その他
- ⑧ 相談・助言

サービスを利用されているAさんの場合

娘さんと二人で暮らしておられますが、ねたきりで、日常生活全般にわたり、介護が必要な方ですが、家庭での生活を望まれています。



そのため、ホームヘルパーは週2回、訪問しております。サービスの内容は、身体の清拭、手浴足浴等を

行っています。

それだけでは、家庭での生活は難しい為、その他にも色々なサービスを利用されています。

Aさんの利用されているサービスは、訪問看護、訪問介護、訪問入浴、主治医往診、訪問歯科、巡回型訪問介護、在宅介護支援センターです。毎日、何らかのサービスを利用され、家族の方々の努力と支えで、家庭での生活を続けられているわけです。

Aさんの娘さん達も、親子で共に生活出来る事を、喜んでおられます。

このように、色々なサービスが家庭に入りますので、各サービス間の連絡・調整をとりあつて、ホームヘルプサービスを行っているのです。



わたしたちが

ヘルパーです



現在、寿老園ヘルパーは、バイク等で訪問介護に回っています。利用者の方が、快く生活される様、努力を重ね、頑張っています。どうぞ、よろしくお願いします。

在宅介護支援センター

在宅の寝たきりや痴呆などのお年寄りとその家族のために、介護についての相談・福祉・保健サービスの紹介などを24時間体制で行っています

※支援センター専用電話
082-261-4533

寿老園案内図



JR 鉄道

広島駅(新幹線口)下車徒歩20分

郊外線バス

広島駅下車徒歩25分

市内電車

広島駅下車徒歩25分

市内バス

広電府中線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広電戸坂東浄線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広島バス温品線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広島バス寺分線新幹線北口バス停下車徒歩20分

書きたいです。私には調理員なので、そのうち、機会があれば、食事に関する記事でも書きたいです。

第2回広報誌発行にあたって、私が担当した仕事は、この記事を書くことだけです。他の記事のことなどに、全くたずさわっていないので、面白い話題がなくて、すごく困っています。兼好法師の「徒然草」のように自分の好きなこと、嫌いなことを、「つれづれなるままに」書くわけにもいかないし……。

編集後記

それゆけ！ ボランティア

今回は、昨年1月よりボランティアにいられている、藤川さんにインタビューをさせていただきました。

Q きっかけは？

A 定年の定年で、このまま家にこもるわけにはいかんと思ってね。それで区役所の福祉課を訪ねたり、地元の人に聞いてみた所、寿老園を紹介されたんですよ。

Q 寿老園ではどんなお手伝いをされてるのですか？

A いやー、僕のできることならなんでもやっていますよ。シーツ交換が得意中の得意!(笑)

Q ボランティアをされていて何か感じると思うことありますか？

A うーん、いろいろあるけれどいつも笑顔で話しかけてあげたいなあと思うね。こっちも人間だから難しい時もあるけどね。寿老園にくるようになっていろんなことを学んだね。地域の人にもどんどん来て欲しいと思う。いろいろ声はかけているんだけどなかなか。(笑)



藤川さんと30分程お話をさせていただきましたが、とっても素敵な方で、ほれほれしてしまいました。藤川さんは現在一緒にボランティアをするお仲間を募集中です。詳しくは寿老園まで!連絡おまちしています。



実習中の生徒たちと(写真中央が藤川さん)